

Nauta = navegante

船員 = 船乗り

フラメンコの起源はそう古くはない。でもその底流に蓄積された先人たちの創意は限りなく豊かなものとなって形成されて来て今がある。現代フラメンコへの隆盛を築いて来た歴史上の人々の熱意はその神秘と豊かさを今に伝えてきたのである。ビセンテ・エスクデロ、ラ・アルヘンティーナ、アントニオ・ルイス・ソレール、アントニオ・ガデス……そして現在。

— 今 — 現代を生きる私達はあらゆる智を駆使してフラメンコを吸収し表現してきた。舞踊史に残る興行師ディアギレフもそのレパートリーに加える程フラメンコは魅惑の芸術と言える。

一方、私は1974年(ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア)カナリア諸島で踊っていた時「フラメンコは小島章司を通してフラメンコのインターナショナル化が始まっている。」と新聞に報道されたことがある。世界を見渡せば限り無いフラメンコの広がりが見える。どの国へ踊りに行っても熱狂的フラメンコファンに巡り会うことが出来る。

作品『Flamenconauta』は2018年私達がヘレス市開催のフラメンコフェスティバルで上演したのが始まりである。その作品における経験は、フラメンコの常識を超越したものであり、大きな変化の局面を示すものであった。世界中からフラメンコに魅せられた人々が集い、密な協力のもと、芸術作品を創り上げたことが記憶に刻まれている。『それは芸術を通して世界平和と愛を分かち合えた瞬間であった。』

今公演ではその時のメンバーも招聘し、日本で活躍する次世代のアーティストにも参加を依頼し、世界の融和とフラメンコの融和が平和に継がる事を祈念しながら舞台創出へと向かっている。

小島章司

出演者



CHICUELO

チクエロ
DIRECTOR MUSICAL-GUITARRA
[音楽監督・ギター]

現代フラメンコシーンでも傑出したギタリストの一人に数えられ、作曲家としても評価の高いファン・イグナシオ・ゴメス“チクエロ”は1968年バルセロナ生まれ。12歳でギターをはじめ、地元のパニーャやフェスティバルなどで活躍後、19歳でタブラオ“カルメン”のギタリストとなり、数々の一流アーティストと共演。後に長年にわたりミゲル・ポベダ、ドゥケンデのギタリストを務め、彼らのアルバムのプロデュースのほか、エンリケ・モレンテやマイテ・マルティン、カルメン・リナレスらも伴奏。舞踊家ではイスラエル・ガルパンのいくつかの作品の音楽を手掛けて、また1987年より小島章司作品の音楽監督を務めている。



MIGUEL “EL LAVI”

ミゲル “エル・ラビ” CANTE [カンテ]

1981年、フラメンコの故郷ヘレス生まれ。12歳でパニーャの舞台で歌い、10代で初来日。舞踊伴唱を得意とし、タブラオや劇場公演でアントニオ・カナレレスやパストーラ・ガルパンら、第一線で活躍する躍り手たちと数多く共演。またヘレスのフェスティバルをはじめ、マドリッドやグラナダなど各地でリサイタルを行うなどソリストとしても活躍中。



JOAQUÍN GÓMES “EL DUENDE”

ホアキン・ゴメス “エル・ドゥエンデ”
CANTE [カンテ]

1984年バルセロナ生まれ。10歳でタブラオの舞台に立ち、11歳でアルバム録音。天才少年としてスペイン各地で公演した。その後も地元バルセロナのパニーャやタブラオを主な舞台として長年活躍中。現在はソロや舞台伴唱などのほか、チクエロのグループの一員としても数多くの舞台に立っている。



KAREN LUGO

カレン・ルゴ/
(ARTISTA INVITADA)
BAILE [バイレ]

メキシコ生まれのクリエイティブでパワフルなフラメンコ舞踊家。アルメリアの舞踊コンクールフラメンコ部門優勝、マドリッドのスペイン舞踊／フラメンコ振付コンクール3位などを経てヘレスやグラナダでソロ公演。またカルロス・サウラ監督の映画『フラメンコ・フラメンコ』にも出演。小島章司とはフェスティバル・デ・ヘレスに於いて作品『フラメンコナウタ』2018年、『ロルカXパッハ』2020年、『トダ・ウナ・ビダ』2023年で共演している。



ALBA ARRO

アルバ・アロ VIOLONCHELO [チェロ]

1984年バルセロナ生まれ。5歳でチェロと出会い音楽学校で学びはじめ、バダローナ音楽専門学院、カタルーニャ高等音楽学校を優秀な成績で卒業。カタルーニャ国立青少年管弦楽団等で活躍。在学中にクラシック以外のジャンルの音楽も学びはじめ、ジャズやフラメンコのミュージシャンたちとも共演。パークリー音楽大学の奨学金を受け修士課程に進み最高評価を得た。



JACOBO SÁNCHEZ

ハコボ・サンチェス
PERCUSSION [パーカッション]

1989年バルセロナ生まれ。2010年にカホンのコンクールで優勝。バルセロナのタブラオや劇場を主な舞台として活躍。これまでにチクエロやドゥケンデ、アントニオ・カナレレスをはじめとする一流フラメンコ・アーティストをはじめ、ハビエル・コリーナ、マーク・ミラルタなどジャズミュージシャンらとも共演。

客演



KOYANO HIROSHI

小谷野宏司 BAILE [バイレ]

大学時代にフラメンコに出会う。スペイン長期留学をきっかけに生活に根強く関わるフラメンコに感銘を受け、志すことに。2022年エルスール財団より「プレミオ・アルマ・ブーラ」受賞。2024年スペインのパロマーレスのフェスティバル「Guilijondo」に主催者の熱望により出演しソロ公演を行う。スタジオ・ラ・カラバーナを主催。また全国各地でライブ活動及び教授活動を行う。



Farolito

Demizu koki 出水宏輝 BAILE [バイレ]

10歳の時にフラメンコを始め、ギター・カンテを田中光夫氏に、舞踊・パルマを榎原美和氏に師事。2014年、官民協働海外留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」の1期生として一年間スペイン留学。第一回全日本フラメンココンクールで努力賞、第28回フラメンコ・ルネサンス21「新人公演」で奨励賞、第10回エルスール財団新人賞(フラメンコ部門)を受賞。現在、大阪を拠点としながら全国各地で精力的に活動している。

小島章司フラメンコ舞踊団



YANAGIYA AYUMI

柳谷歩美 BAILE [バイレ]

1998年、小島章司フラメンコ舞踊団に入団。文化庁移動芸術祭「トリアーナ」に参加。『ガルシア・ロルカへのオマージュ』に初出演。03年、文化庁移動芸術祭に参加。04年、日本フラメンコ協会新人公演バイレ・群舞部門で努力賞受賞。06年、スペインに渡りイスラエル・ガルパンに師事。07年以降多くの公演に出演。現在舞踊団の主要メンバーとして活動。後進の育成にも励む。



MATSUDA TOMOYA

松田知也 BAILE [バイレ]

1998年より小島章司に師事。2001年「黒い音」に初出演。03年文化庁移動芸術祭に参加。04年、来日したクリスティーナ・オヨスに指導を受ける。05年、日・欧市民交流記念ドイツ・ホルトガル公演に参加。08年、日本フラメンコ協会新人公演バイレ・ソロ部門で奨励賞受賞。以降多くの公演に出演。現在舞踊団の主要メンバーとして活動している。



YAMAGATA SHIHO

山形志穂 BAILE [バイレ]

ラグビー日本代表担当として日本ラグビー協会在籍時にフラメンコに出会う。その後エアロビクスインストラクターとして独立、並行して舞踊団活動を始める。『LA CELESTINA〜三人のパパロ〜』初出演、同作品『La Bienal de Flamenco Sevilla』招聘公演に出演。平成28年度河上鈴子記念スペイン舞踊新人賞受賞。現在はフィットネスとフラメンコのインストラクターとして活動している。



TORISAKA REI

鳥阪 麗 BAILE [バイレ]

1996年からフラメンコを始める。石井智子氏に師事、2007年から2018年にかけて、同氏舞踊団員として活動する。2019年より小島章司に師事、現在に至る。